

競技注意事項

- 1 この大会に適用する規則は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定である。
また、競技規則TR5.2、TR5.5、TR5.13.3に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、フィールド競技用シューズについてはTR5.5の適用を除外する。
- 2 本大会は県ユース大会の西播地区予選会である。
 - (1) 県ユース大会への出場者は下記の手順で選考する。
 - ① 各種目上位男子7名、女子6名、競歩競技2名が県大会出場資格を得る。参加申込は、規定に従い各校でおこなう。
 - ② トラック競技は1次予選をタイムレースで実施し下記の方法で選考する。
☆800m以下の競技は参加者が25名以上の場合、2次予選（2組12名）をおこなう。
今年度は1年男子100m、2年男子100m・200m、1年女子100mについて2次予選を行い、県大会出場者を選考する。予選のシードは各組平均化する。
 - ア 第2次予選は、男子2組3着+1、女子2組2着+2で行う。但し男子4着、女子3着以下で同成績（1/1000秒未満の着差）が生じた場合代表決定レースを行う。
 - イ 2次予選進出者は規定の12名とするが、12番目の選手が同記録（1/100秒）で複数ある場合はその人数を加えて番組を編成する。ただし、空きレーンに余裕がない場合は1/1000秒の着差を考慮して2次レース進出者を決定する。それでもなお、優劣が決められない場合は本人または代理人による抽選で決定する。
 - ③ フィールド競技は次の選考方法とする。
 - ア 跳躍（走高跳・棒高跳を除く）、投てき競技は3回の試技後、上位8名を選び、残り3回の試技を行い選考する。男子7位、女子6位が同成績の場合、さらに追加試技を実施し県大会出場資格者を決定する。なお、追加試技の記録は公認記録として認めない。
 - イ 走高跳・棒高跳において男子7位、女子6位が同成績の場合、出場資格決定試技を実施する。なお、追加試技の記録は公認記録として認めない。
 - (4) リレー種目は1、2年生合同で編成することができる。県大会への出場は自由参加とする。
 - (5) 三段跳は標準記録を設ける。男子は1年生・2年生ともに、出場枠に入った選手のうち11m50以上の者とする。女子は1年生・2年生ともに、出場枠に入った選手のうち9m50以上の者とする。
 - (6) ハンマー投は標準記録を設ける。男子は1年生23m00、2年生30m00とする。女子は1年生20m00、2年生23m00とする。
- 3 招集について
 - (1) 選手招集所は、第1ゲートに設け、下表の招集時刻にしたがい点呼をおこなう。

招集時刻	トラック競技	フィールド競技
開始時刻	30分前	40分前
完了時刻	20分前	30分前

(2) 場所及び手順

[トラック競技] 上記(1)記載の招集開始時刻に、第1ゲートにおいて、競技服装、アスリートビブス・腰ナンバーカード〔右腰につける〕、スパイクピンなどの確認を競技者係から受ける。

[フィールド競技] 上記(1)記載の招集開始時刻に、第1ゲートにおいて、競技服装、アスリートビブススパイクピンなどの確認を競技者係から受ける。

(3) 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出しあわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（競技服装、アスリートビブス・腰ナンバーカード・スパイクなどの確認）を受けておくこと。その場合に限り招集時刻の点呼に代理を認める。

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者（チーム）は、出場する意志がないものとみなし処理する。

(5) 当該種目を欠場する者（チーム）は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。

(6) 腰ナンバーカードは、各学校で用意をすること。1500m、3000m、5000m、5000mW、男子3000mSCは、招集時、競技者係から配られる。

4 男子5000mで先頭に一周抜かれた場合はレースを中止させることがある。また、5000mWは男子35'00"、女子40'00"を目途にレースを打ち切ることがある。

5 トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へとする。

6 競技規則に適合しているシューズであることを確認するため、招集時、レース前・終了後に靴底を計測することがある。

7 1年女子3000mと2年女子3000m、1年男子男5000m競歩と2年男子5000m競歩はそれぞれ同時スタートとする。スタートは1列とし、2年生がイン側に、1年生がアウト側にプログラム記載順に整列する。

8 リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の2時間前から1時間前までに記録室へ提出すること。（オーダー用紙は、学校受付時に配布する）

7 やりは、検査をうけて自己のものを使用することができる。

検査場所 ----- 正面玄関前

検査時間 ----- 男子 第一日目 11時00分 女子 第一日目 9時00分

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

男子 走高跳 ----- 1m35(練習) 40-45-50-55-60-65-70-75-78-81 ……以後3cmきざみ

棒高跳 ----- 2m00(練習) 2m20-40-60-80-3m00-10-20-30 ……以後10cmきざみ

女子 走高跳 ----- 1m25(練習) 30-35-40-45-48-51-54-57-60 ……以後3cmきざみ

棒高跳 ----- 1m60(練習) 80-2m00-10-20-30-40-50-60 ……以後10cmきざみ

代表決定の為のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

走高跳・棒高跳でバーを破損した場合は、弁償すること。

9 スターティングブロックは、競技場設置のものを使用すること。

10 競技場が全天候舗装のため9mm以下の全天候型のピンを使用すること。但しやり投と走高跳は12mm以下と

11 競技場内でのウォーミングアップは競技開始の15分前まで認める。それ以降の練習はサブトラックで行うこと。サブトラックではウレタン走路の逆走と周回走、ウレタン走路でのハードル・ミニハードル・ゴムチューブ等の利用、レーンの占有使用、公園内での投てき練習は危険防止のため禁止する。また大会本部の指示により競技に支障がない範囲で、競技場内第2コーナー～第3コーナーの8レーン外側でのウォーミングアップを認めることがあるが、その使用はアナウンスにより連絡する。